

愛知県感染症情報

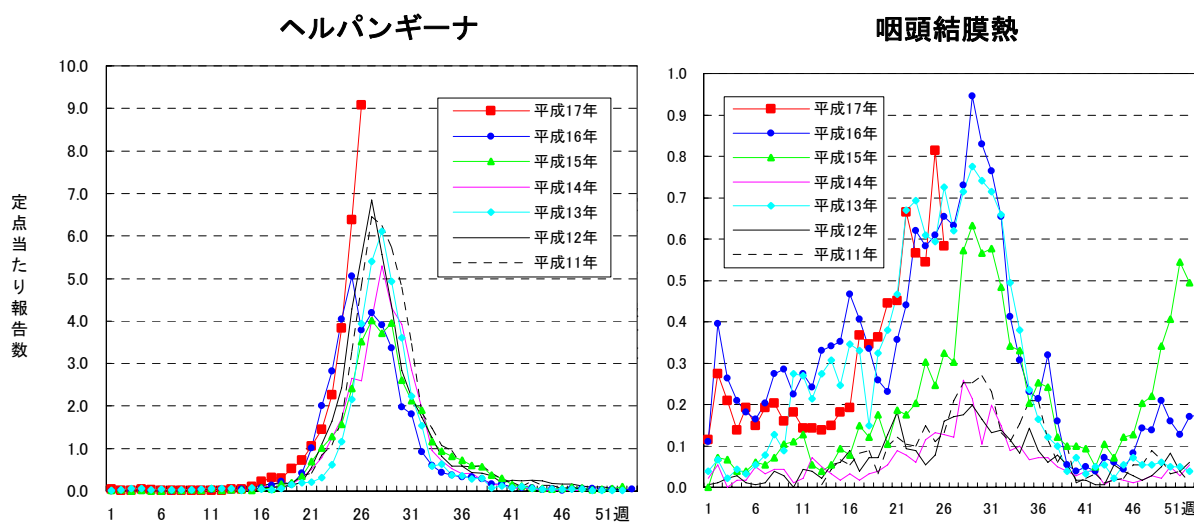
Infectious Diseases Weekly Report

平成 17 年第 26 週(6 月 5 週 6/27~7/3)

《作成》愛知県感染症情報センター

連絡先:052-910-5619 E-mail:eiseiken@pref.aichi.lg.jp

流行状況



疾患名	定点当たり報告数		備考
	前週	今週	
ヘルパンギーナ	6.4	9.1	夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍
咽頭結膜熱	0.81	0.58	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症

◆ 愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

予防接種の話

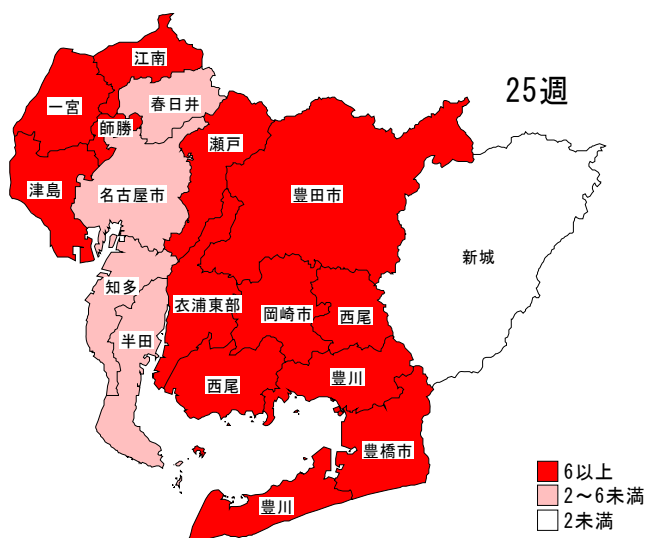
⑩ 黄熱

かの野口英世博士がガーナでこの疾患を研究中に罹患し、客死されたことから日本人にはわりと馴染みのある疾患で、現在もアフリカ、中南米で発生しています。蚊によって媒介され、発熱、倦怠感、悪心、嘔吐で発症、重症例では出血傾向、黄疸がみられ死亡率も20%以上といわれています。また黄熱は国際検疫病として一部の国（国内で黄熱が発生している国、発生の可能性がある国）への入国に際し公式に予防接種証明書（イエローカード）が必要な唯一の疾患です。以前は入国に際し黄熱の予防接種証明書の提示を求める国はかなりありましたが、現在では黄熱発生国でさえ入国時予防接種証明書の提示を求められることは稀となってきました。ただサハラ以南の黄熱発生国経由（たとえトランジットでも）で南アフリカに入国する場合、また、時としてアフリカから東南アジア経由で日本に戻る場合でも、東南アジアの国への入国に際し予防接種証明書の提示を求められ、持参していない場合は入国を拒否されることがあります。黄熱もまだ厳然と存在するので、黄熱発生地域に行かれる方は予防のためワクチン接種（生ワクチン）をしてください。日本では検疫所など指定された施設のみ黄熱ワクチンの

接種、接種証明書の発行が認められています。黄熱接種証明書の効力は接種日ではなく接種後10日目から10年となっていますので他の必要ワクチンとの接種スケジュールをうまく調節してください。

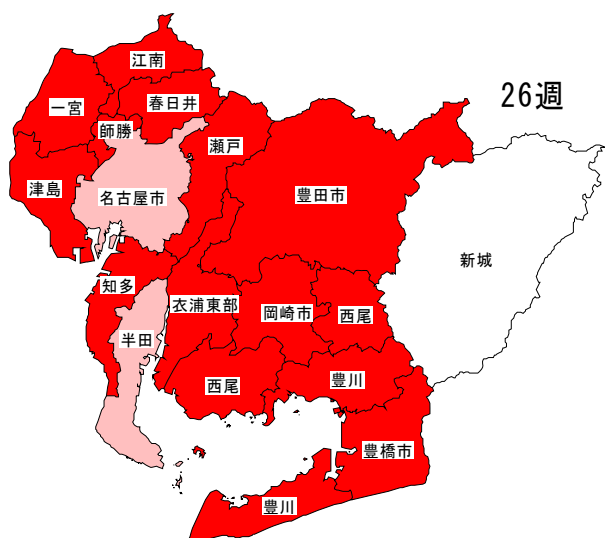
- ◆ 予防接種ガイドライン (<http://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/guideline/1.html>)
- ◆ 予防接種について (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou_week.html)

ヘルパンギーナの保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



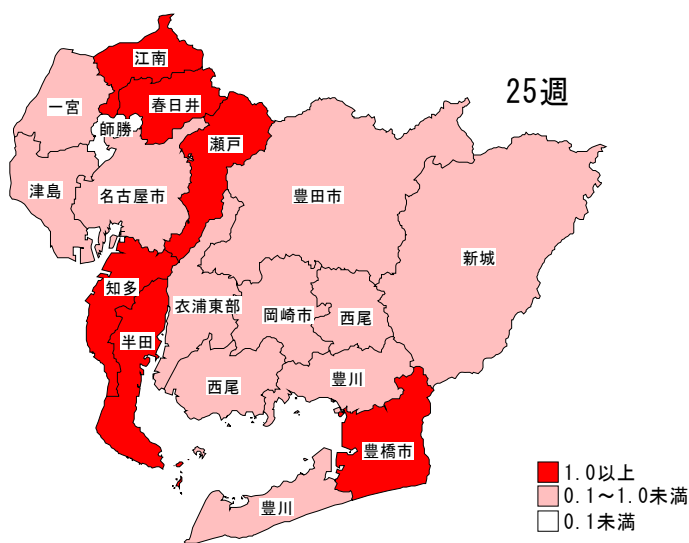
		26週	定点 当たり	25週	定点 当たり
名古屋市		362	5.2	222	3.2
瀬戸	○	72	8.0	66	7.3
津島	○	70	10.0	91	13.0
師勝	○	32	8.0	42	10.5
一宮	○	88	7.3	81	6.8
春日井	○	113	12.6	51	5.7
江南	○	89	14.8	87	14.5
半田		18	3.0	14	2.3
知多	○	86	12.3	22	3.1
岡崎市	○	150	21.4	93	13.3
衣浦東部	○	147	11.3	110	8.5
西尾	○	57	11.4	31	6.2
豊田市	○	180	20.0	111	12.3
豊橋市	○	60	7.5	65	8.1
豊川	○	126	15.8	74	9.3
新城		3	1.5	1	0.5

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

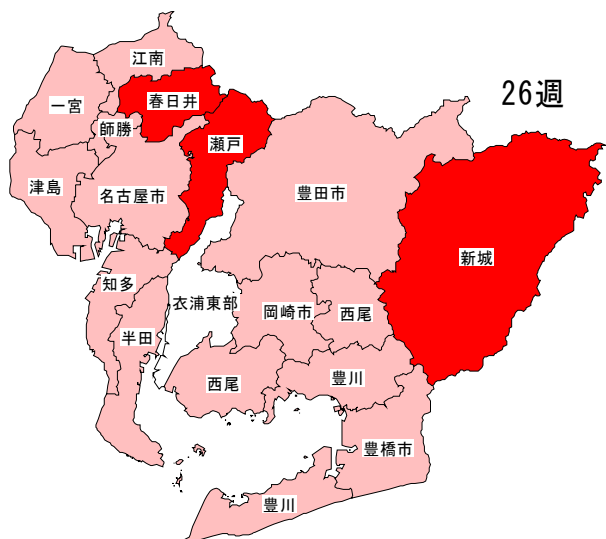


厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるヘルパンギーナの流行発生警報は保健所(市) 定点当たり報告数が6人を越えた場合に発生し、2人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



		26週	定点 当たり	25週	定点 当たり
名古屋市		34	0.5	46	0.7
瀬戸	○	14	1.6	23	2.6
津島		2	0.3	3	0.4
師勝		1	0.3	0	0.0
一宮	○	11	0.9	5	0.4
春日井	○	18	2.0	9	1.0
江南	○	2	0.3	17	2.8
半田	○	2	0.3	6	1.0
知多	○	5	0.7	12	1.7
岡崎市		5	0.7	5	0.7
衣浦東部		0	0.0	2	0.2
西尾		1	0.2	1	0.2
豊田市		3	0.3	4	0.4
豊橋市	○	5	0.6	12	1.5
豊川		1	0.1	2	0.3
新城	○	2	1.0	1	0.5



○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり報告数が1人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

- 4歳女 腸炎 サルモネラO4群
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- マイコプラズマ肺炎 24名
病原性大腸菌O1 14歳男
病原性大腸菌O25 21歳男
病原性大腸菌O78 4歳女
サルモネラO4 2歳女
マイコプラズマ肺炎が非常に多い。
【一宮市 城後小児科】
- ヘルパンギーナが続いています。
【一宮市 平谷小児科】
- 食中毒型の胃腸炎が増えてきました。
川崎病も2例あり。2例ともインフルエンザ桿菌が検出されました。
ヘルパンギーナが多く、ヘルペス様の口内炎を伴うものや、胃腸症状の強いものがあります。
高熱、軟口蓋のアフタを伴いながら、手足に発疹を呈するものがあり(手掌、足底の軟らかい所)、ヘルパンギーナか手足口病か識別の難しい症例があります。発疹も微細で手足口病とは異なる様に思われます。
【犬山市 武内医院】

- ヘルパンギーナが多い。
水痘も続発中
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- ヘルパンギーナなどの夏かぜが多くみられます。
流行性耳下腺炎の流行が続いています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 3歳男、22歳女、7歳女 マイコプラズマ感染症
2歳女、1歳女 アデノウイルス感染症
ヘルパンギーナが増えて参りました。
【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

- ヘルパンギーナが多くみられます。高熱が3~4日つづくアデノウイルス感染以外のウイルス感染があります。
病原大腸菌O18 + カンピロバクター
3歳男
病原大腸菌O111 3歳女
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
- 今週もヘルパンギーナ多数流行中です。
溶連菌感染症、アデノウイルス感染症も引き続き流行中です(咽頭結膜熱 2歳男)。
その他、水痘、手足口病等
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 5歳女 カンピロバクター腸炎
【尾張旭市 旭労災病院】
- アデノウイルス感染症が続いています。
【春日井市 春日井市民病院】
- アデノ感染症続いています。
胃腸カゼ、ヘルパンギーナ増加
水痘少々
カンピロバクター腸炎 2例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 今週はヘルパンギーナが多くみられました。
【春日井市 かがわ北病院】
- 結膜症状がなくてアデノウイルスを検出する例がおおいです。
【春日井市 竹内医院】
- ヘルパンギーナ、ムンプスが流行中です。
【小牧市 小牧市民病院】
- ヘルパンギーナが急増
5月のヘルパンギーナからはCA5が分離されています。
水痘、ムンプスの重複感染が1例ありました。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 手足口病、流行性耳下腺炎 小流行
【南知多町 医療法人大岩医院】
- ヘルパンギーナが急増しました。
【東海市 小児科ハヤカワ医院】
- 10歳男 カンピロバクター (+)
ヘルパンギーナ増加傾向です。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

- 4歳女、5歳男女 イムノカードST Strep A(+)
6歳男 イムノカードST アデノ(+)
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- 病原大腸菌O25 2歳男
カンピロバクター 1歳男
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- アデノウイルス 3歳男4人、4歳女、6歳男
カンピロバクター 8歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 病原性大腸菌O1 3歳女
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- ヘルパンギーナが流行中です。
【三好町 三好町民病院】
- ヘルパンギーナ30名でした。
【知立市 宮谷クリニック】
- 水痘、溶連菌感染症目立ちます。
ヘルパンギーナ、水痘目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
- 病原性大腸菌O25 3歳男 VT (-)
ヘルパンギーナが流行
【西尾市 やすい小児科】
- 2か月女 手足口病 (母も兄も手足口病)
11か月男 (E.coli O78 VT (-)
エルシニア)
【幸田町 とみた小児科】
- 2歳男 病原大腸菌O1
【西尾市 こどもクリニック宮地医院】
- 1歳女 病原大腸菌O15
ヘルパンギーナ目立ってきました
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- ヘルパンギーナが流行しています。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- カンピロバクター 8歳男
【豊川市 ささき小児科】
- 5歳女 アデノ扁桃炎
【豊橋市 野村小児科】
- ムンプス、水痘流行中 高熱児が目立ちます。
【田原市 かわせ小児科】
- サルモネラO4 入院児1名あり 4歳男
【豊川市 豊川市民病院】

一～三類感染症の発生状況 — 愛知県(名古屋市を除く。) —

- 腸管出血性大腸菌感染症 <関連リンク>
(http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備 考
1	瀬戸	1	女	6/14	6/21	6/29	○157 VT1 (+) VT2 (+)
2	瀬戸	4	男	6/27	6/28	6/30	○26 VT1 (+)
3	春日井	6	女	6/22	6/22	6/28	○157 VT1 (+) VT2 (+) 25週報の再掲
4	衣浦東部	9	男	6/23	6/25	6/27	○157 VT1 (+) VT2 (+)

四類・五類（全数把握）感染症の発生状況 — 愛知県(名古屋市を除く。) —

- E型肝炎1例（推定感染地域：パキスタン）
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hev.html>)
- レジオネラ症1例（50歳）
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/leg.html>)
- ※ アメーバ赤痢1例（推定感染地域：国内、推定感染経路：性的接触） 27週報告分
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

梅雨明けが近く、高温多湿の毎日が続いています。日頃はマンガに夢中の中学生や高校生諸君も通学車内で教科書を出して期末テストの準備をしているようです。いつも貴重な情報を有難うございます。6月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはヘルパンギーナが非常に多くなっており次いで咽頭結膜熱、ウイルス性胃腸炎が目立ち、水痘も時期的に多く、ヘルパンギーナとウイルス性胃腸炎の入院が多く、無菌性髄膜炎が目立った流行はない、第二日赤岩佐先生からはヘルパンギーナが目立つ、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎がぼつぼつ、かぜ症候群で 38°C 前後の熱と軽い咳の 1 歳と 3 歳の兄弟例、ヘルパンギーナで 7 歳の熱 (38.8°C) と頭痛が目立つ例あり、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎 7 名 (病原性大腸菌 O-1 が 1 名、O-25 が 2 名、O-18 が 1 名、カンピロバクター 3 名) でうち 3 名入院、アデノウイルス陰性で高熱が 3~4 日続く咽頭炎が目立ち入院数名、アデノウイルス腸炎 1 名、A 群溶連菌咽頭炎 5 名と目立ち咽頭炎の要入院例 5 名、中京病院柴田先生からはムンプス、溶連菌、水痘が少しあり仮性クループの入院がやや目立つ、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からはヘルパンギーナ多発中、感染性胃腸炎と水痘が散発中、川崎病 2 例 (1 歳児、2 歳児)、江南市昭和病院小児科からは水痘、ムンプス、A 群溶連菌が目立ち、ヘルパンギーナが出てきた、アデノウイルス感染症と川崎病の入院目立つ、常滑市民病院上田先生からはムンプス (髄膜炎の入院目立つ)、感染性腸炎 (脱水による入院あり)、溶連菌感染症や咽頭結膜熱 (入院が目立つ) が多いとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは夏カゼが流行中でマイコプラズマ肺炎があるが入院は全体として減少、加茂病院梶田先生からは A 群溶連菌、ムンプス、水痘の流行が続きアデノウイルスはやや増加、ロタウイルスがまだ時にあり数名入院、クループが少々増加、エルシニア感染症 1 名入院、刈谷市田和先生からはヘルパンギーナを含む夏かぜで幼児~学童で高熱を示すものが目立ち、感染性胃腸炎が少し目立つ、碧南市永井先生からはムンプス、水痘があり、ヘルパンギーナが出始めた、豊橋市からは水痘、手足口病、ヘルパンギーナ、ムンプス、細菌性腸炎などが少数ありとのお手紙でした (市内長屋先生、宮澤先生)。有難うございました

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2005 年 6 月 10 日 (80 巻 23 号) <http://www.who.int/wer/2005/wer8023/en/>

- ☆ マールブルグ出血熱。アンゴラの最新情報：05 年 6 月 5 日保健省報告。423 例 (死亡 357)。ウイジェ州が 412 例 (死亡 346)。この 1 週間で新規確認例は 1 例 (最盛期は週 30~40 例) と減少傾向であるが当局は厳重警戒中。
- ☆ ポリオ。インドネシア：05 年 6 月 8 日報告。新規確認例 8 例。発生以来の累計は 28 例となった。新規例はこれまでの流行地区に隣接した県で発生。5 月 2 日インド・ムンバイの WHO センターで 1 型野生株が同定された (3 月 13 日発病、18 歳、ポリオワクチン未接種。西部ジャワ居住)。5 月 31 日~6 月 2 日、西部ジャワで絨毯爆撃的ワクチン一斉接種を 5 歳以下の小児 640 万人に実施、6 月 28~29 日に第 2 回を実施の予定。ウイルスの遺伝子解析から今回の

野生株は03～04年に西アフリカで発生しその後スーダン、アラビア半島イエメンに伝播した株と一致。詳細は下記URL参照。

<http://www.polioeradication.org/content/pressreleases/Indonesiapolio6June2005.pdf>

- ☆ リンパ系フィラリア症（LF）根絶計画、2004年の進捗状況（注：糸状虫症。蚊が媒介。蚊の体内で増殖した幼虫＝マイクロフィラリアが吸血でヒトに感染、リンパ節で成虫になりリンパ管に寄生、雌体内から多数のマイクロフィラリアが夜間に血中に流出、吸血した蚊の体内で増殖して伝播。症状としてリンパ管閉塞による浮腫、乳び尿、陰のう水腫、象皮病がみられ慢性に経過、運動障害が発生。以前は本邦南部にも分布していた）。WHOによるLF根絶計画の概要。04年、LFの常在国83カ国のうち35カ国で抗糸状虫薬の多剤投与（mass drug administration, MDA）が実施された（04年の実施国と非実施国の世界地図あり）。全体の実績は投薬対象者（感染リスク者）約4.36億名、内服報告者数約2.5億名であり、国別の内服者の人口に対する割合はまちまちであるが対象者の多い国をみると、ガーナで53%、ナイジェリア3.5%、ブルキナファソ64%、ハイチ18%、エジプト100%、フィリピン54%、インド41%、ミャンマー38%であり、WHO地域別ではアフリカ地域14%、南北アメリカ22%、東地中海100%、メコン河流域周辺地区（ミャンマー、フィリピン、ベトナム）58%、東南アジア50%であった（詳細な国別、地域別一覧表あり）。国別の詳細な状況：略。

- ☆ 6月3～9日届出。コレラ：マラウイ、モザンビーク、ニジェール、ジンバブエ。

2005年6月17日（80巻24号）<http://www.who.int/wer/2005/wer8024/en/>

- ☆ 麻しん根絶。ザンビア。1999～2004年：ザンビアは南アフリカに位置し05年の総人口は約1,170万、91～99年の年間麻しん罹患数は約23,600名であり5歳以下小児の罹患死亡5大疾病の一つであった。99～04年の間、ザンビアでは麻しん根絶計画がいくつかの方式で継続された：生後9か月の全国一斉定期接種に加え99年には4都市地区で9か月～4歳児を対象にSIA（Supplementary immunization activities）が実施され、00年には全国約半数の地区にSIA導入、03年には6か月～14歳児に2回法接種を導入し発病者には抗体測定による確認が実施されることとなった。04年1月にはWHOの提唱する普及活動を採択し、接種率の低い10地区で定期接種を強化した。本報は99～04年の進捗状況と03年のSIA導入以後の麻しん減少の概略である。①ワクチン接種率と麻しん届出数：99年には1歳未満小児の74%がワクチン接種をうけていたが00年には接種率90%以上、04年には97%となった。5歳未満小児人口千人当りの麻しん届出数は99年には5.8、その後増加した年もあるが04年には0.7となっている（99～04年の患者数と死亡数のグラフ、表あり。目立つのは03年後半の患者数の減少で、03年前半と比し87%減となっている）。この減少傾向は04年前・後半も続いている。②抗体測定：麻しん疑い831例から採血、34（4.1%）が麻しんIgM抗体が陽性であった。この831検体のうち689検体の風疹IgM抗体は323（46%）が陽性であった（注：信じられないような数字であるが、本文にはコメントなし）。③麻しんによる死亡：99～02年の麻しん死亡数は年間平均217名であったが03年以降激減し、04年前半ゼロ、後半3名であった。

- ☆ ポリオ根絶。世界の急性弛緩性麻痺（Acute Flaccid Paralysis, AFP）。05年報告数：国別の詳細な一覧表あり。全世界で05年AFP届出数は17,764例、うち適切なウイルス検体搬入85%、人口10万当り非ポリオAFP届出数は2.20、ポリオ患者数は448例、全例野生株と確認、国別ではイエメン220、ナイジェリア144、スーダン25、インドネシア20、インド18、エチオピア10、パキスタン7、アフガニスタン2例であった。

愛知県感染症情報

2005年第1週～第26週(平成17年1月3日～平成17年7月3日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	(成人麻しんを除く。)	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く。)	クラミジア肺炎	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																								
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	120	80,211	1,438	5,559	25,413	8,600	1,310	613	2,866	27	23	4,840	15	5,154	12	675	5	3	143	0	0			
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	102	63,746	1,072	3,874	18,169	6,896	1,106	489	2,195	23	11	3,856	10	3,996	7	548	5	3	143	0	0			
名古屋市	70	70	11	14	1	18	16,465	366	1,685	7,244	1,704	204	124	671	4	12	984	5	1,158	5	127								
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	14	4,170	296	446	915	347	21	31	133	1	2	210	2	153					41				
海部	津島	7	7	2	2	1		3,211	11	113	1,359	264	41	42	78			301		397					6				
尾張中部	師勝	4	4	1	1			2,064	1	106	576	202	11	19	44		1	176		67									
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	1	4,490	85	267	1,442	365	203	23	190	2	1	336		321	1	52	1						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	18	7,534	232	312	1,157	515	58	27	223	5	5	267	1	203									
	江南	6	6	1	2		3	2,731	102	444	1,394	521	79	32	224			351	1	391									
知多半島	半田	6	6	1	2	1	5	2,950	70	152	789	318	121	28	96	1		54	1	197					1				
	知多	7	7	2	2		7	3,766	67	395	958	300	22	26	163			146	1	283									
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	5	6,131	27	291	457	550	94	30	294	3		367		453	1	37							
	衣浦東部	13	13	2	4	1	6	9,012	29	309	1,494	950	68	116	206	1	1	351	2	426					10				
	西尾	5	5	1	2	1	14	1,893	13	163	624	374	126	30	91			160		110									
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	8	4,651	28	377	4,014	638	46	35	192	9	1	364		363		75	3	3	61				
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	1	6,865	88	313	1,686	463	78	24	159			392		109	2	64	1		21				
	豊川	9	8	1	2	1	20	3,616	20	176	1,273	1,050	135	26	99	1		376	2	517	3	22			3				
東三河北部	新城	2	2			1		662	3	10	31	39	3					5		6									

愛知県感染症情報

2005年第1週～第26週(平成17年1月3日～平成17年7月3日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	102	63,746	1,072	3,874	18,169	6,896	1,106	489	2,195	23	11	3,856	10	3,996	7	548	5	3	143	0	0
～6ヶ月	50	319	10	8	265	171	14	2	142	6	1	35		3		6					
～12ヶ月	22	958	47	21	1,177	429	71	28	1,219	2		259	1	19		5					
0歳																	2		4		
1歳	15	3,279	199	115	2,747	1,150	272	30	770	2	2	882	2	173		18			21		
2歳	10	3,674	145	204	1,887	1,131	204	24	57	2	1	691	1	362	1	22			21		
3歳		4,334	248	426	1,674	1,432	208	46	6	2	1	701	1	649	1	32	1		19		
4歳	2	5,537	193	717	1,530	1,190	148	69		1	1	572	1	822		19			14		
5歳	1	5,473	91	802	1,285	686	91	66			3	359	2	689		14					
6歳	1	5,343	58	535	930	310	36	62		2		168	1	490	1	8					
7歳	1	4,021	22	345	700	156	14	50			1	74		266		4					
8歳		3,659	17	209	571	77	11	39		1		37		173		8					
9歳		3,188	11	151	460	41	10	34				27	1	103		3					
5歳～9歳																			36		
10歳～14歳		5,826	13	190	1,117	80	7	30	1		1	39		156		14			10		
15歳～19歳		992	1	15	398	10		1				3		11		9			1		
20歳～			17	136	3,428	33	20	8		5		9		80			2				
20歳～29歳		4,268													1	73		1	2		
30歳～39歳		6,134													1	153			4		
40歳～49歳		2,630														51		1	2		
50歳～59歳		1,854													2	39		1	2		
60歳～69歳		1,147														41			3		
70歳～																29					
70歳～79歳		676																	3		
80歳以上		434																	1		